

富士見町議会議員

牛山もとき

やる気、**元気**、もとき!の活動だより

みなさんこんにちは。町議会議員牛山基樹です。

新型コロナウイルス第5波は大変な猛威を振るいました。変異株の感染力の脅威は、大きく社会生活にダメージを与えてしまい、特定の業種、生活弱者の方に強くその影響が出てしまい心が傷みます。

そしてすべての方の暮らしを大きく変えてしまいました。

これからはオミクロン株、第6波の感染拡大に適切に対応し、ブースター接種を控えた医療提供体制の維持と、コロナ禍で傷んだ社会活動の再生、停滞した経済活動への対策、安心できるコミュニティづくりが引き続き大切です。

そしてコロナ後の新しいまちづくりには、今までと同じことを繰り返すのではなく、環境にも、働き方にも、人にも配慮した社会構築に向けて、より良い形でのグリーンリカバリーの実践を目指していく所存です。



政治とは「今日のご飯と同時に、明日のご飯を考えること」

今だけが良ければいいのではありません。町にはいくつかの計画がありますが、その計画が実行されなければ意味がありません。次世代の子どもや孫たちの未来の暮らしや生活環境の為に、責任を持って今の施策は実行されなければならないのです。そのために必要なことは、この町は「**どういう町を目指すんだ**」という**明確なビジョン**と、**具体的な計画と実行の積み重ね**です。ビジョンが示され、計画が見えて、はじめて町民は自分たちの事として参加することが出来るのです。

『自戒』として学ぶこと。

『青天を衝け』渋沢栄一氏(1840-1931)はこんな漢詩を残しています。残りの任期も1年と少し、一期3年目の結びにあたって町民の身近にいる地方議員として胸に刻みたいと思っています。

待有余而 济人終無 济人之日
余り有るを待ちて 人を济はば終に 人を济ふの日無けん
待有暇而 読書必無 読書之時
暇有るを待ちて 書を読まば必ずや 書を読むの時無けん

訳:余裕ができるのを待って人を济い助けようとするならばいつになっても人を济う日はおとずれないであろう 暇のできるのを待って書を読もうとするならば必ずや書を読むときはやって来ないであろう
青淵

待有余而 济人終無 济人之日
待有暇而 読書必無 読書之時

町民の目線

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、大勢の方と一緒に意見交換や議員活動報告会を開くことができていません。残念に思いますが少数の声や小さな声でもお伺いして聴いています。ご意見ご要望をお気軽にお寄せください!!



一般質問 1期3年目の視点「遠」「近」

「遠」未来の富士見町の戦略、「近」身近な町の課題。この2つのテーマで毎回質問しています。

令和3年度 9月定例会

質問 1 町長選挙公報4つのキーワード策定の要旨とは

質問 2 選挙公約14の政策の具体的な内容について

8月に町長選挙がありました。名取町政2期目の選挙公約は、町の将来の設計図でもありますので、成果の為の計画と求められる2期目のゴールについて質しました。

令和3年度 11月臨時会

一般質問はありませんでしたが、一般会計補正予算(第8号)議案質疑において、環境保全審議会アドバイザー(旧小川別荘跡地)について、何に対してどんなアドバイスを求めるのか、公開で審議がなされるのか等を質しました。

令和3年度 12月定例会

質問 1 公共交通検討チーム新設の具体的計画について

2019年の総合計画に同じことが示されていますが、なぜ実行されないまま再度政策公約にされたのか質しました。デマンド号の再整備は急激な高齢化、免許返納、買い物弱者の対策など、もう待った無しの課題でもあり、これからの町づくりの基盤整備になります。

質問 2 町ぐるみICT化の推進の具体的内容

行政事務のスマート化は、行政サービス向上と本来職員がやらなければならない業務に集中出来るメリットがあります。

質問 3 ゼロカーボン達成を目指しての行動計画

実効性が伴わない言葉だけのゼロカーボンであってはなりません。



町に元気を! 3年前の町民との約束は果たせているか?

「素材」「アイデア」「人」がカギとなる5つの主要政策

想像力×行動力×新戦力=新しい富士見 商業・観光・農業を最大限に活かすとお約束しました。このテーマはこう考えます。

農業に全力



「業」としてだけ捉えるのではなく、**持続可能な農村集落**をテーマに見ていくことが大切だと考えています。(コロナ禍にあって商業、観光と取り組んできましたが、残りの任期では農業にも全力で向き合います)

・**農地の維持**と新しい農地活用や、**高齢化と担い手不足**の課題にも向き合います。

・人口減少時代、コロナ禍における安定した**自給率の向上**

・生産から消費に至るまで、農場から食卓までを考えた、「食」としての一連の仕組みを農業振興に繋げます。

・高付加価値、高収益と同時に、**コストのかからない農業**・環境配慮型の農業シフト(農業や肥料など)、**みどり食料戦略**を研究します。

アスリートを応援し価値を創造



3月24日~25日「SPRING RACE2022 in Fujimi Panorama」スノーボードのトーナメント大会の誘致決定(全国からプロライダーとトーナメントにチャレンジするアマチュアライダーが富士見町に集まります)

福祉・包括的支援体制構築事業の重要性



今後増加が予想される複合・複雑化する問題、様々な相談が、ひとつの窓口で受けられ多機関で**連携して支援できる地域共生社会**づくりは、国庫補助金が終わっても継続すべき事業だと訴えています。

地域脱炭素移行・再エネ推進



茅野市、原村、富士見町で環境と共生の共同宣言を出しました。地域として考えることに意義がありますが、それ以前に**町としての気候変動に対する将来に向けたビジョン**を示し、そのための具体的計画や**再エネルギー活用戦略**など考えを示すべきです。

◎地球温暖化に責任ある行動

2030年1.5℃、2050年カーボンゼロに向けて待った無しです。

◎太陽光発電施設の建設抑制と積極的活用

富士見町における**適地**とは、相反する課題にどう向き合うのか。県の施策に厚みをつける補助など、町独自の発想が求められています。

◎発電の収益を富士見町内に還元

地域新電力会社による**電力の地消、地域強靱化、電気自動車のインフラ整備**など、地域内での循環経済を目指します。

アフターコロナを乗り越え、持続可能な社会のために



- ❖ 「思いやり」「共感」そして「知恵」が新しい価値を創ります。心と心は密に。
- ❖ 議員、行政に求められる「SDGs」の考え方は、「繋がりのある視点、重なりあう視点」ですね。
- ❖ コロナ後の社会づくりの「カギ」は、ただ単に元の経済や生活に戻るのではなく「グリーン・リカバリー」にあります。
- ❖ 10年後の「元気な町の姿」は、未来を見据えた「現在の取り組み」で決まります。

詳細につきましては、「議会だより」または「議会事務局ホームページ」をご覧ください。

QRコードで簡単アクセス▶▶▶



皆さんの「困った」を自分ごとに…
ご意見ご要望をお気軽にお寄せ下さい!!

FAX 0266-62-7434

メール gZR01224@gmail.com

※この報告書は政務活動費の一部を使って発行しております。

決意! 行政のPDCAに厳しく! 残り1年間の任期、町に元気をやる「計画」、そして「実行」がなされるように、提言。成果を厳しく見て、町民の幸せな暮らしに結びつけてまいります。